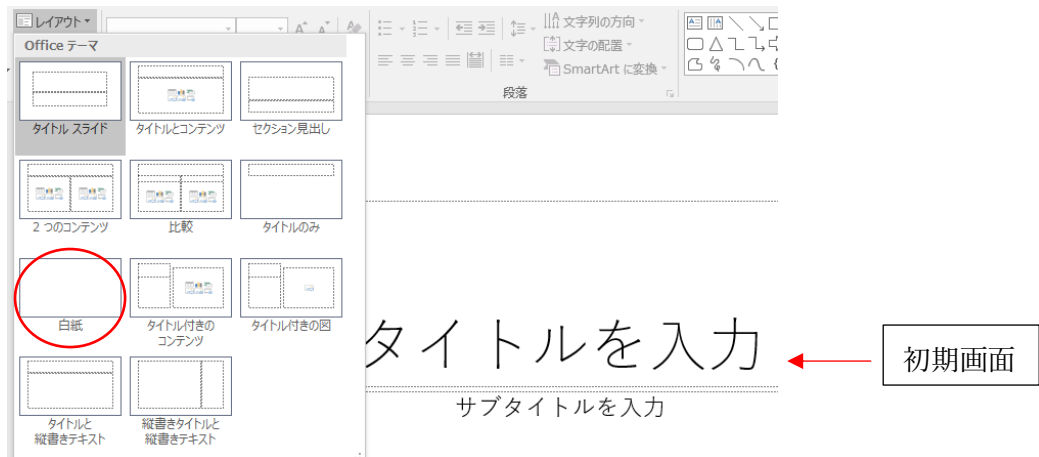


PowerPoint でスライドショー作成

1. 作成のための準備

初期画面では、タイトル・サブタイトルを入力する枠があるので、レイアウトをクリックして白紙画面にする。



2. スライドのサイズを決める。

4 : 3 16 : 9 ユーザー設定がある。(近年のパソコンや TV の画面サイズは16 : 9になっています。)

3. 背景の書式設定をする。

初期画面では、背景は白になっています。
塗りつぶしを使っているんな背景に設定できます。

単色

グラデーション (角度 45°)

図またはテクスチャ (画像・麻)

パターン



すべてに適用すると新しいスライドも同じ背景になる。
ページごとに背景を変えたい時は、個々に設定する。

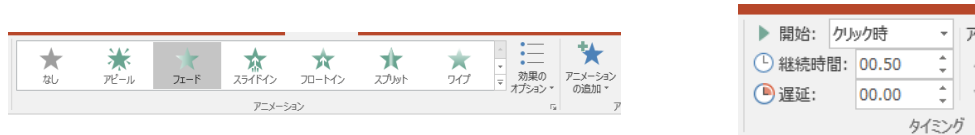
4. ワードアート・テキストボックス・画像などでタイトルを入れる。

下はワードアートと PhotoFiltre で画像として作ったタイトル



5. タイトルにアニメーションを付ける。

アニメーションをクリックしてパターンを選択し、タイミングを調整する。



調整したらプレビューで確認する。(うまくいってなければ再調整する。)

6. 新しいスライドを追加する。



7. スライドにする画像を挿入から追加する。

MovieMaker と異なり一画面に複数の画像を追加できる。

左は挿入から画像を追加し図のスタイルを適用したもの。

右は挿入から雲の図形を描いてダリヤの画像で塗りつぶしたもの。

こういうように画像を変形することが可能です。



8. 必要ならばそれぞれの画像にキャプションを付ける。(ワードアートかテキストボックスで)



9. アニメーションを付けて凝ったものにする。

表示する順番にアニメーションを付けていく。

10. さらに新しいスライドを追加する。

画像がまだあって1ページに収まらない時は、スライドを追加していく。

後の手順は前のページと同じ。

11. 最後のスライドにクレジットを入れる。

(参考として4スライド)

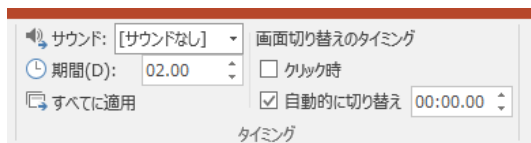


12. 画面の切り替え効果を付ける。

単に画面が切り替わるだけでは面白くないので切り替え効果を付ける。



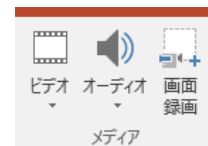
タイミングで切り替え時の調整をする。(すべてに適用すると同じ切り替え効果になる。)



13. BGM を入れる。

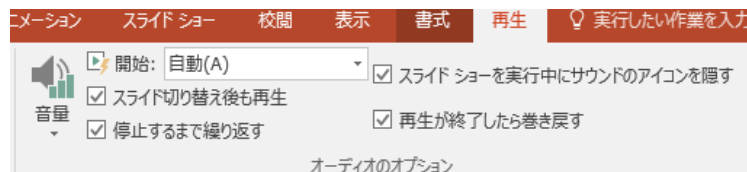
挿入からオーディオをクリックして

このコンピューター上のオーディオをで保存してある音楽ファイルを選択する。



開始を自動に

その他の項目にもチェックを入れる。



14. プレゼンテーションまたは動画として保存する。

名前を付けて保存する。

ファイル名を付け、ファイルの種類をプレゼンテーション (修正・追加が可能)、

MPEG-4 ビデオ・Windows Media ビデオ (完成した動画として保存)